

プラトン主義の言語学

日英語分析の数学的基礎

岩崎 永一 著

日本語の「は」と「が」や「象は鼻が長い」文、日本語・英語のコピュラ文、存在文、所有文、ウナギ文などを分析する長編研究書。言語学(意味論)におけるコペルニクスの転回をもたらす函数理論を提唱し、言語学を数学の一分野に位置づける。Fauconnierの「役割函数」などの理論的論点を俎上に載せるとともに、Chomskyの思想を批判的に分析し、言語学におけるプラトン主義を復権する。



◆目次

- はじめに 言語学と言語哲学における本書の意義と貢献
- 序章 <言語の実体>研究の「コペルニクスの転回」—言語の数学的基礎付け
- 第1章 Russellの一意性仮説・真理条件の意味論・Chomskyの意味論観とそれらの先に—「指示」概念から袂別した意味論
- 第2章 Löbner (1985) の函数理論と本書の函数理論—西山 (2003) の「変項名詞句」と「命題函数」の消去、そして、theと「は」の意味の数学的基礎付け
- 第3章 メンタル・スペース理論と西山理論の論争と総括—Fauconnier (1985/1994) の「役割」と西山 (2003) の「変項名詞句」
- 第4章 西山 (2003) の「変項名詞句」と「は」・「が」の問題、そして、新たな函数理論
- 第5章 連体修飾節・日本語の関係詞は存在するか・「象は鼻が長い」の論理構造—「は」の更なる探究と三上説のインスピレーション
- 第6章 日英語のウナギ文の意味理論—新たな言語事実と函数理論の分析
- 第7章 比較相関構文 (Comparative Correlatives) における函数理論、そして、非制限関係節の意味理論と統語理論—Iwasaki (2017)の改訂理論
- 第8章 言語学的プラトニズムの復権—Chomskyの思想の変遷と誤謬

◆著者紹介

岩崎 永一 (Eiichi Iwasaki)

[略 歴] 慶應義塾大学経済学部卒業。英国に留学し、MA in English Language and Linguistics (University of Essex) 取得。

ケンブリッジ大学セント・エドモンド・コレッジ (St Edmund's College, Cambridge) 客員研究員 (Visiting Scholar) などを経て、現在、複数の大学で教鞭を取る。

[研究領域] 言語学 (意味論・語用論・統語論) および言語哲学。

[研究業績] 英国の著名な言語学者Prof. Andrew Radfordとの共著論文を含め、論文多数。本書を含め単著学術書5冊 (そのうち1冊は全文英文) 。

ご注文申込書 貴店名 / 帖合	注文数	発売：株式会社三恵社 TEL:052-915-5211 FAX:052-915-5019
	冊	岩崎永一 [著] プラトン主義の言語学 —日英語分析の数学的基礎— 405頁 / A5判 / 並製 定価 3,500円 (税別) ISBN978-4-86693-876-9 C3082
ご注文は、JRCへ FAX: 03 - 3294 - 2177 (TEL: 03 - 5283 - 2230) 株式会社 JRC 経由で、すべての取り次ぎへの出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。		

※取次配本はありません。